

日本あちこち河川遡行記（第308回）

大阪-4. 大津川

大阪 4-1. 榎尾川（その1）後半 令和2年1月7日（火）小雨のち曇り

[続き]

大津川右岸の土手道を快調に西に進む。川幅が広がり泉州一の川を感じさせる姿である。河口部は阪神高速湾岸線と府道 29 号の「大津川大橋」が隣り合い、府道橋の直ぐ上流側には 0.2km のキロポストが立っている。ここから 200m は湾岸線の下になるので行ってみるとフェンスが張られそれらしき標識柱も見えない。更に先に進むが何も無い。ここで U ターンして本来の遡行を開始する。



12.河口部を横切る阪神高速湾岸線と府道 29 号



13.ゼロキロポストが見当たらず、0.2 km で我慢

来た道を暫く東に進み次の「盾並橋」を渡り左岸側の「忠岡町」に入る。この忠岡町、面積日本一狭い町で 3.97 ㎡しかない。川の南に東西に延びる幅の狭い町で、南海も阪和線もあつという間に通り過ぎる町である。南隣の岸和田市との合併も断り孤塁を守っている。

橋を越えると有りました本日 5 つ目の蓋が！町の花サツキが描かれている。再び南海本線を左岸側から見て今度は下を潜る道が有るのですんなり上流に行ける。



14.日本一狭い町「忠岡町」は町花のサツキ



15.河口からは左岸側を上流に

左岸側を進むと今度は自動的に「牛滝川」の左岸側を進むことになる。ついでなので牛滝川の橋も診ておくことにする。合流点から 0.1 キロの所に距離標識が有る。榎尾川に無かったが牛滝川には有るじゃないか。どうやらこちらの方が格上のようなのだ。



16.ついでに右側の「牛滝川」を診ておく



17.牛滝川にはキロポストが有るぞ

3 つ診て本来の榎尾川の方に戻り両川の間泉大津市に入ると別の絵柄のマンホールが現れる。6 つ目じゃないか。こんなに現れると慌てふためくではないか。一瞬何の絵柄か分からなかったが機織り機と織子の絵柄だと分かる。毛織物の織機なのかな？羊よりもこちらの方がエエナ、エエヨ。



18.泉大津市の第二の絵柄が現れる

槇尾川に戻り左岸側を東に進む。住宅地に入ると格調高い道が暫く続きこりやええぞ。

府道 30 号を過ぎると川の南側に真新しい大きな病院が現れる。和泉市立総合医療センターと書かれている。市民病院は別に前からあったので医療センターと名付けたのだろう。



19.突如現れた格調高い道



20.和泉市のまっさらな大きな病院が市躍進の証拠

市道の「郷荘橋」を見た所でハンドルを反転させ府中市街に戻ることにする。この先 3km ほどは橋が無いのでその先の橋は次回に見ることにして、和泉国の国府庁跡を見に行くことにする。自転車だといろいろな所に寄り道出来るのが魅力である。観光案内所でもらった地図で「御館山公園」を目指す。公園は何処にでもあるミニ公園でその北西角に国府庁跡の石碑がひっそりと有る。

飛鳥時代から続く国の名で和泉だけが読みが「いずみ」なのに和が付いている

のを子供の頃から不思議に思っていたが、国名は全て漢字の二字表記になっているので「泉」に和を無理やりつけて二字にしたのだろうと判断していたがどうやらピンポンのようだ。

和泉国は河内から分離した国というのを解説板から知り、また泉が近くの井上神社の境内から湧き出したことから国名になったのも知る。時代が下り人口の増加、産物の増加から国の分離が進んだようで、かつての「陸」、「羽」、「越」、「備」、「豊」、「肥（火）」国が2~3国に分離し、それぞれに「前、中、後または奥」を付けた。美作は備前からもう一度分離した国である。野（毛）国は「上、下」に分かれ野は上に上下の字を付けた例外である。JR 両毛線の線名はここから生じている。



21.ミニ公園の片隅に「和泉国府庁跡」の碑が



22.和泉国の由来が分かったぞ！

公園の直ぐ近くの「泉井上神社」にも立ち寄り珍しい形式の社殿を見ておくことにする。この神社は近隣の神社の神を合祀した総社である。岡山県には総社から採った総社市がある（んじゃ）が全国には多くの総社が有るんだな。



23.国名の元となった泉が出た神社に



24.神功皇后が朝鮮に出兵のおり立ち寄ると清水が湧き出たとのこと



25.泉井上神社の社殿は豊臣秀頼が再建



26.同じ形式の社殿がもう一つ

駅前まで戻り食べ物屋を探すがそれらしき店が無く、やっと見つけた店が「王将」。王将とは三度目のご来店である。あんかけ五目ラーメンが有ったので時次郎にあやかりこれをオーダーする。

観光案内所に再度立ち寄り暫し市の話をして駐輪場に向かい自転車を返す。電動アシスト自転車なら踵の痛みも無くあちこち立ち寄れるのでグーだ。

本日の輪行距離：15.0km。調査した橋の数：28。

総歩行距離：10,735.1km。総調査橋数：14,031。

使用した 1/25,000 地形図：「岸和田東部」（和歌山 10 号-1）